

Collectively, they controlled more wealth than the entire United States Treasury, and for years the media had held them up as examples of success.

Who were they? They were: Charles Schwab, president of the world's largest steel company; Arthur Cutten, the greatest wheat speculator of his day; Richard Whitney, president of the New York Stock Exchange; Albert Fall, a member of the President's Cabinet; Jesse Livermore, the greatest bear on Wall Street; Leon Fraser, president of the International Bank of Settlement; and Ivan Kruegger, the head of world's largest monopoly. What happened to them? Schwab and Cutten both died broke; Whitney spent years of his life in Sing Sing penitentiary; Fall also spent years in prison, but was released so he could die at home; and the others Livermore, Fraser, and Kruegger committed suicide". ♣

Richard Smitten *Jesse Livermore, World's Greatest Stock Trader*, 2001

Donald McCullough, *Waking from the American Dream*, 1988

Wyckoff History Lessons ワイコフの歴史

ハンク・ブルーデン博士 (米国・サンフランシスコ・テクニカルアナリスト協会)
サンフランシスコ・ゴールデンゲート大学・Agenoビジネス・スクール教授

リチャード・ワイコフは20世紀の最初の10年間でウォール街の著名人となりました。この10年間はまさに、テープ・リーダー、チャーティスト、投機筋にとって黄金期であったと皆が認める時期でした。ワイコフは彼の雑誌「Magazine of Wall Street」、その他の出版、アドバイザリー・サービスから巨額の富を得ました。彼の分析の正確さと能力により、20万人という、今日の基準でもとてつもなく大勢の購読者から巨匠とも言える地位を得ています。1928年に体調の不良でアドバイザリーを引退した後、40年間のウォール街での経験で得た観察・分析力を、真面目で勉強と研究に熱心な一般の人々に何らかの形で残さねばと考えました。1930年頃、彼はウォール街で利益を得るか損失を被るかにかかる真実を明らかにしたいと表明しました。彼は当時、皆がそうだと考えていた企業・産業レポートや業績等は成功の秘密ではないと知っていました。それらに代えて彼は「真のゲームのルール」たる原則と手順の組み合わせを提示したいと考えました。これらのルールがワイコフ式のテクニカル分析と株式投機法と知られるようになったのです。

ワイコフの人となり

ワイコフは15歳で証券会社の使い走りとしてスタートし、数年後ブローカーの監査人になり、そのあと25歳で自身のブローカーを設立しました。彼が開発したテクニカル分析の手法は、テクニカル分析の多くの手法が誕生したウォール街の黄金期での長い経験を基に彼の持つ並外れた観察力と対話力が相まって生み出されたものです。彼の自伝である「Wall Street Ventures and Adventures Through Forty Years」では彼のウォール街との関わりを知ることができますし、「真のゲームのルール」をまとめたその並外れた観察力を評価することができます。次の述べるのは彼が1901年ころ内部情報について書いているひとつの例です。

「その頃私は重要人物が何をしているのか発見するために、かなりの時間を費やしました。必ずしもいいコネクションが多かったわけではありませんでしたが、それらをフルに使いこなすことで、1日のうちでそれらの重要人物らが市場でしていたことについて、彼らが見たら驚くような量の情報を集めることができました。例えば、チャールス・シュワップはペンシルバニア鉄道の巨額な買い手でしたが、それは全てエンパイア・ビルの1階にいた証券会社を通じてでした。私は彼が何株買ったかのレポートを常に手に入れていましたし、私の顧客はペンシルベニア鉄道をロングにしていました。彼は160台まで買い込み、そこで突然買いを止めました。この動きがカーネギー氏のための相場の動きだったのか、シュワップ氏が誰かに雇われて、買いを続けて市場をコントロールできるかどうか見定めるための動きだったのかは分かりませんでしたが。」

巨大プレーヤーが裏で行っていた相場操縦を多く観察することを通じ、ワイコフはテープやチャートから、将来の株価の最良の指標は、需要と供給の関係であることを発見したのです。1910年にRollo Tapeというペンネームで彼は「Study in Tape Reading」という本を出しました (Fraser出版1995年、Cosimo出版2005年)。今では古典になった市場の動きの読み方と投機の方法にかかるこの本の中でワイコフは、ストップ・オーダー、出来高指標、さえない市場とその中での収益機会、その他数多くのテクニクについて述べています。それらはワイコフ手法に組み入れられてきています。ワイコフは、アナリストの能力のなかで、買いと売りの相対的力関係を読み、市場の動きの中において優勢な力を推測する能力を第一に挙げています。